

四日市港管理組合の財政の状況

1 令和2年度予算の執行状況（令和3年3月31日現在）

(1) 一般会計

歳入

歳入区分	予算現額	収入済額	備考
分担金及び負担金	2,651,841,000	2,651,841,000	
使用料及び手数料	634,901,000	620,729,226	
国庫支出金	494,059,524	218,732,964	
県支出金	23,860,000	0	
財産収入	10,919,000	10,868,718	
繰入金	12,699,000	12,697,622	
繰越金	35,150,864	35,150,864	
諸収入	27,181,000	20,482,619	
組合債	1,851,000,000	493,000,000	
歳入合計	5,741,611,388	4,063,503,013	

歳出

歳出区分	予算現額	支払済額	備考
議会費	16,990,000	16,171,742	
総務費	759,581,000	663,777,170	
港湾管理費	771,495,684	504,659,156	
港湾建設費	1,928,510,704	529,851,740	
公債費	2,164,034,000	2,163,977,444	
予備費	1,000,000	0	
災害復旧費	100,000,000	0	
歳出合計	5,741,611,388	3,878,437,252	

※予算現額には、前年度からの繰越額を含む。

(2) 港湾整備事業特別会計

歳入

歳入区分	予算現額	収入済額	備考
使用料及び手数料	1,554,870,000	1,514,121,047	
財産収入	554,403,000	523,526,618	
繰入金	19,940,000	0	
繰越金	153,376,513	153,376,811	
諸収入	505,762,000	486,334,586	
組合債	387,000,000	0	
歳入合計	3,175,351,513	2,677,359,062	

歳出

歳出区分	予算現額	支払済額	備考
管理費	1,146,236,413	684,420,840	
建設事業費	479,040,100	343,995,590	
公債費	1,550,075,000	1,550,030,657	
歳出合計	3,175,351,513	2,578,447,087	

※予算現額には、前年度からの繰越額を含む。

2 財産の状況（令和3年3月31日現在）

区 分	現 在 高
公 有 財 産	
土 地	1,842,167㎡
建 物	55,082㎡
山 林	—
動 産	船舶2隻、浮棧橋6個
物 権	—
無 体 財 産 権	—
有 価 証 券	63,000,000円
出 資 に よ る 権 利	7,000,000円
不 動 産 の 信 託 の 受 益 権	—
物 品	動力船4隻、発電機1台等65件
債 権	—
基 金	6,021,960,923

3 組合債の現在高（令和3年3月31日現在）

区 分	現 在 高
公 共 事 業 等 債	18,561,025,787 ^円
（旧）緊急防災・減災事業債	188,478,512
単 独 事 業 債	1,312,652,744
災 害 復 旧 事 業 債	21,500,000
港 湾 整 備 事 業 債	129,280,000
一般会計 計	20,212,937,043
港 湾 整 備 事 業 債	5,617,778,281
臨 海 土 地 造 成 事 業 債	1,285,286,000
港湾整備事業特別会計 計	6,903,064,281
計	27,116,001,324

4 一時借入金の現在高（令和3年3月31日現在）

区 分	借 入 限 度 額	現 在 高
一 般 会 計	3,000,000,000 ^円	0 ^円
港湾整備事業特別会計	2,000,000,000	0
計	5,000,000,000	0

5 令和3年度予算の概要

令和3年度当初予算は、事業の選択と集中を図り、「四日市港戦略計画（2019～2022）」の取組を着実に推進することを基本方針として編成しました。

「四日市港戦略計画（2019～2022）」に基づき、利用者にさらに満足してもらえるような港をめざして、次の3つの視点に立った取組を中心に進めていく。

- (1) 物流を支援する港づくり
- (2) 人流を創出する港づくり
- (3) 地域を守る港づくり

一般会計の予算額は、52億8,717万5千円で、対前年度比較で1億8,294万4千円、率にして3.6%の増加となっている。港湾整備事業特別会計の予算額は、41億5,716万1千円で、対前年度比較で12億4,280万3千円、率にして42.6%の増加となっている。

(1) 一般会計

歳入

歳入区分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較
分担金及び負担金	2,727,586	2,662,371	65,215
使用料及び手数料	682,773	660,561	22,212
国庫支出金	229,940	287,885	△ 57,945
県支出金	23,860	24,725	△ 865
財産収入	10,921	10,919	2
繰入金	10,000	30,000	△ 20,000
諸収入	29,095	29,770	△ 675
組合債	1,573,000	1,398,000	175,000
歳入合計	5,287,175	5,104,231	182,944

歳出

歳出区分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較
議会費	19,348	18,872	476
総務費	783,197	781,726	1,471
港湾管理費	811,018	782,434	28,584
港湾建設費	1,365,642	1,254,334	111,308
公債費	2,206,970	2,165,865	41,105
予備費	1,000	1,000	0
災害復旧費	100,000	100,000	0
歳出合計	5,287,175	5,104,231	182,944

(2) 港湾整備事業特別会計

歳入

歳入区分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較
使用料及び手数料	1,462,532	1,582,071	△ 119,539
財産収入	531,090	583,464	△ 52,374
繰入金	459,514	208,972	250,542
繰越金	20,000	20,000	0
諸収入	35,025	34,851	174
組合債	1,649,000	485,000	1,164,000
歳入合計	4,157,161	2,914,358	1,242,803

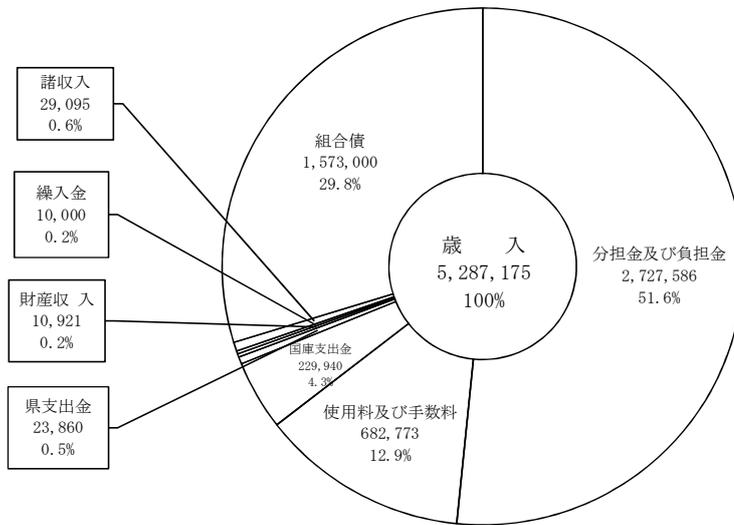
歳出

歳出区分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較
管理費	981,739	841,816	139,923
建設事業費	1,692,700	521,611	1,171,089
公債費	1,482,722	1,550,931	△ 68,209
歳出合計	4,157,161	2,914,358	1,242,803

(3) 予算の構成割合

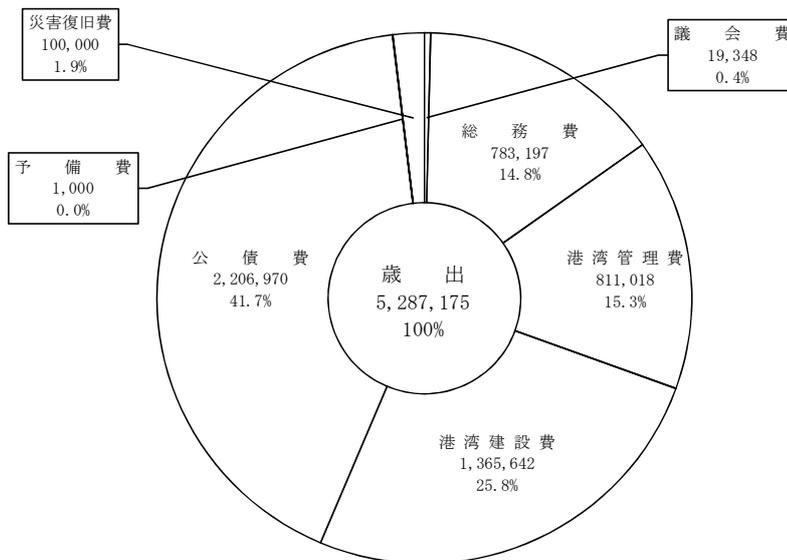
ア 一般会計

一般会計の歳入予算は、主要な自主財源である港湾施設使用料、土地使用料などの使用料及び手数料、財産収入で約13.1%を占めている。これ以外の主な歳入として、縣市負担金を内容とする分担金及び負担金が約51.6%、国庫支出金及び組合債が約34.1%を占めている。



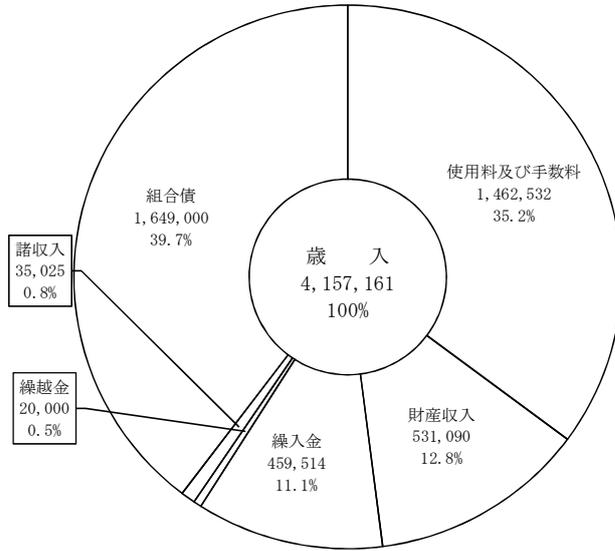
一方、歳出予算のうち、霞ヶ浦北埠頭81号耐震強化岸壁整備などの国直轄事業負担金、岸壁改良、護岸補強工事などの補助事業、及び単独事業を内容とする港湾建設費で、約25.8%を占めている。

また、係留施設などの管理運営に要する経費である港湾管理費は約15.3%で、このほか建設改良事業のために借入れた組合債の元利償還金である公債費が、約41.7%を占めている。



イ 港湾整備事業特別会計

港湾整備事業特別会計の歳入予算は、主要な自主財源である港湾施設使用料、ひき船使用料などの使用料及び手数料、財産収入で約48%を占めている。また、これ以外の主な歳入として、組合債が約39.7%を占めている。



一方、歳出予算のうち、霞ヶ浦北埠頭用地整備事業などの建設事業費が、約40.7%を占めている。また、上屋、ひき船などの管理運営に要する経費は約23.6%で、このほか建設改良事業のために借入れた組合債の元利償還金である公債費が、約35.7%を占めている。

